

2019年01月17日

## 【格付維持】

NTTドコモ

発行体格付： AA+ [格付の方向性：安定的]  
コマーシャルペーパー： a-1+

格付投資情報センター(R&amp;I)は上記の格付を公表しました。

## 【格付理由】

国内最大の移動通信事業者。グループの持株会社である日本電信電話（NTT）が株式の過半を握る。NTTグループにおけるドコモの利益貢献度は高く、NTTドコモの格付はグループ全体の信用力を反映するとともに、それを大きく支えている。

ドコモは2019年度第1四半期に料金プランを見直し、2~4割程度の値下げを行い、最大で年間4000億円規模の顧客還元を予定している。料金プランの詳細などは明らかになっていないが、収益への影響は避けられない。ただ、利益が落ち込んでも、設備投資や競争力の強化に必要な投資を賄えるだけの投資余力を保てるとみている。コスト削減や、5Gサービスや顧客基盤の維持・強化を通じた非通信分野の拡大などで2021年度に営業収益5兆円、2023年度に2017年度並みの営業利益を回復する計画だ。今後の進捗を見守る。

ドコモ以外のNTTグループ各社も国内通信市場において強固な収益基盤を構築しており、投資余力は厚い。収益基盤の拡充のために必要な投資負担にも十分対応可能だ。財務の余裕度も高い。

## 【格付対象】

発行者：NTTドコモ（証券コード：9437）

名称	格付	格付の方向性		
発行体格付	AA+（維持）	安定的		
名称	発行限度額 （億円）	担保・保証 保証会社等	格付	
コマーシャルペーパー	3,000	無担保	a-1+（維持）	

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp  
 ■報道関係のお問合せ先：経営企画室（広報担当） TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

## 信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	廣岡 一雄
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2019年01月11日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2018.05.31] 通信 [2018.08.17] 親会社と子会社の格付の考え方 [2017.12.13]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html</a>	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html</a>	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html</a>	
格付関係者	N T T ドコモ
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置 情報提供者	決算書類、開示情報 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。 格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。 R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。 利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。	